

11月指導計画(3歳以上児クラス) 幕張第二保育所										所長印	主任印	担任印
3歳児			4歳児				5歳児					
子どもの姿	・運動会への参加を通し、年上児から刺激を受け、様々な運動遊びを引き続き楽しむ姿や、年上児と同じようなことに挑戦しようとする姿が見られている。おしゃべりも上手になり、友達とごっこ遊びを楽しみ、遊びが広がってきている。			・運動会を終え、今まで取り組んできた運動遊びなどに自信を持つようになってきている。興味・関心も強くなり、今まで以上に意欲的に参加する姿が見られる。一方で、苦手意識から、あまり参加しない子もいる。友達との関係では、自分の思いを自分で相手に伝える姿が増えている。				運動会を通して自信がつき、運動遊びだけでなく様々な活動に友達と一緒に意欲的に取り組む姿がある。係の仕事をしたり、年下児に教えたりする機会を通し、人の役に立つことや頼られることに喜びを感じている。				
	ねらい ・保育者と一緒に手洗いうがいを丁寧にしたり、衣服の調節をし、健康に過ごす。 ・保育者や友達と一緒に体を動かすことを楽しんだり、散歩に出かけ秋の自然に親しむ。			・健康に過ごすための生活の仕方がわかり、自分から行おうとする。 ・友達との遊びの中で、自分の思いを伝え合いながら遊ぶ楽しさを感じる。				・健康で安全な生活を送るための生活習慣がわかり、自分から進んで行う。 ・友達と一緒にイメージを出し合い、工夫しながら遊びを進める楽しさを味わう。				
養護 （ <small>生命の保持 情報の安定</small> ）	環境設定	予想される子どもの姿	保育者の援助・配慮及び環境の再構成	環境設定	予想される子どもの姿	保育者の援助・配慮及び環境の再構成	環境設定	予想される子どもの姿	保育者の援助・配慮及び環境の再構成			
	一人一人の様子に合わせて1対1でじっくりと話を聞けるような場を用意する。	・保育者のもとで安心して自分の思いを表現する。㊶	・子どもの気持ちの変化は職員間で共通理解し対応する。	・自分で思いを伝えようとする姿を見守り、必要に応じて保育者が仲立ちとなる。	・保育者に見守られながら、自分で自分の思いを伝え、再び友達との遊びに戻る。㊶	・子どもの気持ちを受け止め、安心感を持てるようにする。どのように伝えればよいのかを知らせ、安心して自分の思いを伝えられるようにする。	・話し合いの前にその子の思いを聞き、確認しておく。	・自分に自信が持てず、自分から思いを言いだせなかったり、活動をやり始めることがなかなかできない子がいる。㊶㊷㊸	・最初に発言できるようにし言いやすい雰囲気にしたたり、これまでの取り組みの中で頑張ったことなどを伝え励まし、気持ちを盛り上げる。			
教育 （健康 人間関係 環境 言葉 表現）	・自分で着替えや衣服の始末がしやすいように、スペースを確保する。 ・遊びの途中で上着を着脱するときのように始末するか事前に場所ややり方を知らせしておく。 ・手洗いうがいの仕方がわかるよう絵や写真を掲示し、確認ができるようにする。 ・落ち着いて食事ができる環境を整える。(食事をするメンバー、身体とテーブル・イスのバランス、食具や食器の配置など) ・自分から進んで何度も繰り返すことに面白さを感じられるような、無理のない巧技台の設定をする。	・自分から身の回りのことをやろうとし、できると得意げに保育者に見せに来る。㊶㊹ ・「寒い」「暑くなった」と保育者に言いに来る。保育者に促され、上着の調節をする。㊶㊺	・長袖や重ね着で着脱や衣服の始末が難しくなるので、やり方を知らせたりさり気なく手伝ったりする。 ・一人一人の体調や活動量なども考慮しながら、子ども自身が暑い、涼しいを感じて衣服を選べるようにする。 ・手洗い、うがいの大切さを知らせ、保育者が見本となり、丁寧にできるようにしていく。 ・箸やスプーンの持ち方を一人一人把握し、正しい持ち方や使い方を繰り返し知らせ見届けていく。	・手洗いうがいの意味や必要性を絵本や紙芝居などを用いて知らせる。 ・箸遊びを設定して箸の持ち方について知らせたり、食事のマナーについて、確認をする場を設ける。 ・引き続き様々な運動遊びを楽しめるよう、子どもの興味や発達に合わせた遊具や用具、遊び方を設定する。 ・ルールのある遊びを設定し、楽しさを感じられるようにする。 ・友達の中で一人ひとりが十分に自分の思いを伝えられるよう、話をしやすい落ち着いた環境を用意する。	・手洗いうがいの仕方がわかり、自分からすすんで行おうとする。㊶㊻ ・箸の持ち方や、テーブルや床にこぼさないで食べる事を意識しながら、友達や保育者と一緒に楽しく食べる。㊶㊼ ・様々な運動遊びに参加し、のびのびと体を動かす事や自分なりに挑戦する事の楽しさや達成感を味わう。㊶ ・ルールのある遊びを行う中で、友達と楽しく遊ぶために、ルールを守ろうとする。㊻ ・自分の経験した事や思った事などを、言葉で伝える。友達と言葉でやりとりする楽しさを感じる。㊶	・保育者が側につき手洗いの様子を見守ったり、一緒に洗い身につくようにする。 ・箸の持ち方や食事のマナーについて個別に知らせつつ、落ち着いた雰囲気の中で、楽しく食べられるようにする。 ・子どもの頑張りを認めたり、出来るようになった事を一緒に喜び合い、またやりたいと思えるようにする。 ・自分の都合のいいようにルールが変わらないよう、遊びの前に確認したり、話し合ったりできるようにする。 ・友達の話に応じる楽しさや、応じてもらう嬉しさを感じられるようにする。	・食後の片づけが自分たちでできるよう掃除用具(小ぼうき、ちりとり、雑巾、バケツ)を用意しておく。 ・手洗いうがいの大切さを話す機会をもったり、温度計を置き気温の変化がわかるようにする。 ・イメージの広がりやすい物語を選び、読み聞かせをする機会を設ける。また、子ども達のイメージが膨らみやすいように小道具や音楽を準備しておく。	・自分たちの食べこぼしに気づき食事の仕方について見直し、マナーに気づいて食べようとする。㊶㊽ ・冬を健康に過ごすために必要な生活習慣や態度(手洗い、うがい、衣服の調節等)が身につく自分から行う。㊶㊾ ・様々な素材や道具に触れ、試してみながらイメージしたものを工夫して作る。㊶㊿	・食べこぼしの理由が食事の仕方にあると気づけるようさり気なく知らせ、マナーについて考える機会をもつ。 ・気温の変化を感じたり、周囲の人の様子で気づき、自分から衣服の調節ができるようになる。 ・イメージを持ちにくい子には保育者がその時々に応じた言葉をかけ、その子なりの表現を楽しめるようにする。 ・友達と一緒に制作をする中で新しい発想ができた時はそれを逃さず話し合いの場を設ける。 ・子どもが作ったものを発表したり飾ったりする場を設けお互いの良さを認め合ったり、新たな刺激を得て再び取り組んだりできるようにする。			
	・簡単なルールのある遊び(鬼ごっこや運動会での年上児の競技の再現遊び等)を用意する。 ・思ったことを話しやすい雰囲気や友達の思いをきちんと聞ける雰囲気をつくる。 ・みんなで歌ったり踊ったりすることを楽しんだり、はりきってその場に参加できるような設定を行う。 ・秋の自然に触れられるようなポイントを所庭で見つけたり地域の公園に出かける機会を持つ。	・自分の思いや経験したことを話したり、友達の話を聞いたりして楽しむ。㊷ ・友達や保育者と一緒に、曲に合わせて歌ったり踊ったりしながら表現することを楽しむ。㊸	・体のバランスを取る動きや体を移動させる動きが十分経験できるような、運動遊びに興味を示さない子や苦手な子も、様子を見ながら誘いかけていく。 ・保育者や年上児と一緒に遊ぶ中で無理なくルールが理解できるようにし、守ろうとしている姿を認める。 ・保育者が仲立ちとなり、子どもが伝えようとしていることを分かりやすい言葉で補い、伝える。 ・保育者も一緒に歌ったり踊ったりしながら楽しさを共感していく。 ・保育者や友だちと一緒に秋の自然に親しみ、季節の変化に気付くような言葉をかけていく。	・落ち葉や木の実を見つけたり集めたり出来るような場所へ散歩する機会を設ける。 ・落ち葉や木の実などの自然物を集めたり、遊びに使ったりして楽しむ。 ・葉の色の変化や風の冷たさなど、季節の移り変わりに気付く。㊶㊿	・様々な素材に触れ、自分の思いをついたものを作ったり、イメージを形にしてい楽しさを味わう。㊶㊿ ・落ち葉や木の実などの自然物を集めたり、遊びに使ったりして楽しむ。 ・葉の色の変化や風の冷たさなど、季節の移り変わりに気付く。㊶㊿	・一人ひとりの表現を認め、自分なりに表現する事や自分にも出来たという喜びを感じられるようにする。 ・紅葉や風の冷たさを感じたりする嬉しさを、ともに感じる。保育者自身が感じた事を率直に言葉にする事で、子どもも感じた事を表せるようにする。	・ドングリや松ぼっくりなどがたくさんある公園を散歩先に選ぶ。 ・木の実や落ち葉などを取り入れて遊んだり、飾りを作ったりして楽しむ。㊶㊿	・友達の発想を豊かにするため様々な素材を用意しそれぞれの素材の特性を知らせる。 ・友達の発想ができた時はそれを逃さず話し合いの場を設ける。 ・子ども達から声がかかるまで保育者は見守る。				
行事予定	2日(木)ピクニック 9日(木)おはなし会 14日(火)年長クッキング 21日(火)交通安全教室 28日(火)わくわくさんショー(父母会主催行事) *毎週火・水・木は年長児の昼寝はなし。		家庭との連携	年長児保護者との連携	小学校・地域との連携	・見通しを持てるように、生活の流れをボードや目安時間を示した時計などで明示する。 ・クッキングに必要な物、手順、正しい用具の使い方や安全面、衛生面について目で見てわかる方法で伝える。	・時間や時計に興味を持ち、時計の針の動きを目安にしながら行動したり、自分達で時間を決めて活動しようとする。㊶㊿ ・クッキングを通して作る事の楽しさ、自分達で作ったものを食べる喜び、作ってくれる人への感謝の気持ちを持つ。㊶㊿	・時間で追い立てるのではなく、見通しが持てるように働きかけることを大切にする。 ・クッキングの様子を家庭へ見える方法で伝え、家庭でも食に対する関心を持てるようにする。				
	月の反省	3歳児	・気温差が激しくなり、厚着をしている姿が見られたので気温に合わせて衣服の調節ができるように声かけをしていった。鼻水が出ている子が増えてきたので、鼻水のかみ方について丁寧に知らせるようになったことで、自分でかもうとする意識が出てきている。 ・色鬼や形鬼などルールの簡単な鬼ごっこを楽しんでいった。最初はルールの分からなかった子も楽しむ中でルールを理解していく姿が見られたので、引き続き保育者が遊びに入り、丁寧にルールを知らせていながら楽しんでいく。参加していない子の誘いかけもしていく。 ・食事でスプーンが正しく持っている子は箸への移行をしている。家庭の様子も聞き、スプーンと併用しながら箸の使い方を丁寧にしている。	4歳児	・集団での遊びについて、みんなで一つの遊びを楽しむ事が少なかった。集団での遊びや、ルールのある遊びを設定し、大人数で楽しむ機会を増やしていく。また、自分からはあまり参加しない子に対して、積極的に誘い掛け、一緒に遊ぶ楽しさを感じられるようにしていく。 ・制作が好きではあるが、制作をする機会があまり持てなかった。季節のものを作ったり、廃材を利用して作る事を楽しめるように、必要な材料と時間を十分に設けていく。	・5歳児 ・秋の制作をするうちに「お店屋さんで売ったら素敵だね。」ということから、全体に投げかけ遊びが広がっていった。各お店のグループで(少人数)準備を進めたことで自分がやらないといけないという思いを持った子もおり、積極性が出てきた。 ・何か問題や困ったことがあった時に子どもたちで話し合う機会を多く持つようにしていった。子どもたちから出た意見をわかりやすく表にしたり、視覚からもわかるようにしていった。 ・自分たちで掃除をするようになり、小学校の掃除の姿を見せてもらうという目的を持った交流ができた。刺激を受け、掃除の仕方を見て感じたことを話し合ったり、自分たちの生活に役立てるようになっている。						

【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】ア.健康な心と体 イ.自立心 ウ.協同性 エ.道徳性・基本意識の芽生え オ.社会生活との関わり カ.思考力の芽生え キ.自然との関わり ク.数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ケ.言葉による伝えあい コ.豊かな感性と表現